

施設名 渋谷教育学園晴海西こども園

施設類型 公私連携幼保連携型認定こども園

所在地 中央区晴海4-8-1

電話番号 (03) 6204-2620

ファックス番号 (03) 3531-4500

URL <https://www.shibuharu.jp>

設置者 学校法人渋谷教育学園

開園時間 午前7時30分～午後6時30分

教育保育時間 午前9時～午後1時30分

延長保育時間 午後6時30分～午後7時30分

預かり保育(幼稚園) 午前7時30分～午前9時、午後1時30分～午後6時30分

休園日 日曜日、祝日、年末年始(幼稚園利用は土曜日も含む、長期休業期間あり)

最寄り駅 都営地下鉄大江戸線 勝どき駅  
都営バス マリナーズホテル東京前、BRT 晴海中央  
江戸バス 晴海区民センター

開設年月日 令和6年4月1日開園

施設概要 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造  
(晴海区民センター1～3階部分の一部)

延床面積 3,390.34 m<sup>2</sup> (専用園庭 1,527.6m<sup>2</sup> その他屋外スペース 1,314m<sup>2</sup>)

### 1 保育目標・方針

□保育理念 「自調自考」

発達過程に則した教育・保育のねらいを設定し、豊かな人間性、自ら考える力、人としての生きるための基礎作りを行う

□保育目標 ・元気に遊べる子 ・根気よくやりぬく子  
・素直で思いやりのある子 ・読書好きな子

### 2 保育料

- ・1、2歳児の保育料、延長保育料は区の認可保育園に入園した場合と同額
- ・3、4、5歳児の保育料は無償ですが、無償化対象外の費用として以下が生じます。  
給食費(副食費)4,800円(区民は無償)、教育費3,000円、絵本代400～500円程度
- ・幼稚園機能の預かり保育料 平日 A:7:30～9:00、C:17:00～18:30 各1回1,000円 月極12,500円  
B:13:30～17:00 1回580円 月極7,250円 セット(A+B+C)月極29,250円  
長期休業期間中(夏、冬、春休み)1回900円(給食費別途300円)

### 3 年齢別定員数(令和7年4月1日現在)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2・3号	—	30名	30名	35名	20名	20名	135名
1号(幼稚園利用)				50名	50名	40名	140名

### 4 職員数

統括園長	園長	施設長	保育教諭	看護師	調理	その他	計
1名	1名	1名	37名	1名	5名	6名	52名

### 5 持ち物リスト

着替え、口拭きタオル、お昼寝用バスタオル、食食用エプロン、おむつ(記名済のもの)等  
各年齢に合わせて必要なものをお知らせします。

### 6 給食内容について

メニュー例	昼食: ごはん、手ごねハンバーグ、人参甘煮(キャロットグラッセ)、ジャーマンポテト、ころころスープ、りんご おやつ: さつまいもスティック
食育の取り組み	食を通して食具の使い方、食事マナーの向上をはかり、また健康づくりの一環として野菜の栽培・収穫や皮むきや自分たちで作ったものを食べていきます。
アレルギー対応について	医師の指示に基づき、栄養士、看護師が保護者に確認してアレルギー食材の除去・代替等により食事を提供しますが、症状によっては対応できかねる場合がありますので、個別にご相談ください

### 7 保護者に対する情報提供について

連絡ノートアプリ、園便り、クラス便り、献立、食育便り、その他  
こども園のICTを活用してタイムリーにお知らせします。

### 8 1日の保育内容

時間	教育・保育内容	
	幼稚園利用	保育園利用
0.3125	預かりA	早朝保育
9:00	順次登園	合同遊び
	各クラスに分かれて活動 戸外・室内遊び・製作・体操や英語も行います	
11:30	昼食(給食・お弁当)	
12:30		午睡
13:30	着替え・帰りの会・降園	
	預かり B(～17:00)	
15:00		めざめ・おやつ
		午後の活動・順次降園
17:00	預かり C(～18:30)	
18:30		延長保育
19:30		閉園

### 9 年間行事予定

	1・2歳	3・4・5歳
春	初めましての会	入園式
夏		夏の子ども会 一泊保育(年長)
秋	定期健康診断	秋の遠足 運動あそびのつどい
冬	クリスマス会 豆まき会 ひなまつり会	表現あそびのつどい 造形あそびのつどい 卒園式
その他	園外保育・誕生会・防災防犯避難訓練は 随時実施します。	

※実施時期や内容は、年によって変更する場合があります。

### 10 園長から一言

子どもが子どもらしく過ごせる乳幼児期を大切に、子どもが自ら育とうとする力を信じて 子どもが主役の教育・保育を実践してまいります。保護者のみなさまと一緒に子どもの素晴らしさやおもしろさを見い出しながら「子育て支援・子育て支援」に務めていきます。